



### SUPPORTERS CLUB NEWS

# 友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501 青森県上北郡七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
青森県上北郡七戸町立鷹山宇一記念美術館友の会  
TEL) 0176-62-5858 (FAX) 0176-62-5860  
(e-mail) takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



■第60回東奥賞贈呈式にて(12月1日/ホテル青森)■

## お祝いの言葉

この度の東奥賞受賞、誠におめでとうございます。又、鷹山宇一画伯の東奥賞特別賞受賞(平成10年)と親子二代の受賞は殊の外お目出度く、私達友の会会員一同心からお祝い申し上げます。

鷹山ひばり館長は常日頃から「お客様本意」「子ども達に夢を」をモットーに数々の企画展を開催し、皆様方のご支持を頂いて参りました。本物を観つづけることが本当の美意識を育む…大人のみならず、児童生徒を対象とした展覧会を企画し、特に手塚治虫展(2回)、藤子・F・不二雄展、安野光雅展、アンパンマン展の入館者数合計は71,884人で、企画展全入館者の25.5パーセントを占めております。そして殆どがご家族で、子ども達はお父さんやお母さんと一緒に来館しております。この子ども達が成長して社会人となり、やがて一家を構えた時、今度は自分の子どもを連れてこの美術館に来てくれることを願っているのです。

鷹山館長は、東奥賞受賞の言葉として「人は死ぬ時、お金や地位は持つて行けない。持つて行けるのは、ただ一つ思い出だけ」だとおっしゃっております。正にこれらの企画展は思い出作りであり、人として情豊かな人間に育ってほしいと言う願いでもあろうと思います。子ども達の為のワークショップもその取り組みの一つであります。

この様に、鷹山館長は企画力、先見性、豊かな人間性を備え、二科会事務局時代に培った人脈を活かし、又、館長就任以来、青森県内でのネットワークを優れた企画力と交渉力とによって構築し、美術館の運営に当たってこられました。

美術館を取り巻く環境は、近年一層厳しさを増して来ております。私ども友の会は美術館と一体となり、その発展のため盡力いたす所存であります。

鷹山館長には今後とも健康に留意され、ますますの御活躍をお祈りいたします。最後に、三世雪中庵・大島夢太の句を掲げ、お祝いの言葉といたします。

朝風や ただ一すぢに あげ雲雀 夢太

平成19年12月15日  
鷹山宇一記念美術館友の会  
会長 盛田 駿造

# 平成19年研修旅行 山下清展・棟方志功記念館を訪ねて

平成19年度最後の研修旅行、29名の参加のもと11月14日に実施しました。棟方志功記念館では学芸員から特別に解説を頂くなど有意義な時を過ごし、山下清展でも新たな感動を覚えた一日でした。



山下清展 青森県立郷土館

ため息も出せないくらい細やかさ、色の合わせ具合！古切手等を使うとは、世の中がすごい色の数に見えたのだと思う。

棟方志功は、やっぱり青森県人だなあと身近に感じます。志功さんが青森で小学校の代用教員をしている時の楽しいエピソードを、その時の生徒だった方から聞いたことがあるので、特に近く感じます。生き生きと躍動感ある作品は、あいかわらず迫ってくるものがあります。同じ県人として、誇りに思います。皆様も同感ではないでしょうか？

そして、お楽しみのお食事タイム!!ここでられません!

こでられません!  
東北町 東 敦子

いつも恒例の美術館めぐりは、私にとってホクホクデーです。すぐれた作品にじかに触れることで、すぐ傍らにその人を感じることも出来る。なんてステキな時間なこと！個々の人生を精一杯に生き、た証としての、それぞれの作品が放つ力を、勝手に思いのまま五感で感じられる喜びはすごい。という訳で、ホクホクなのです。



棟方志功記念館庭園

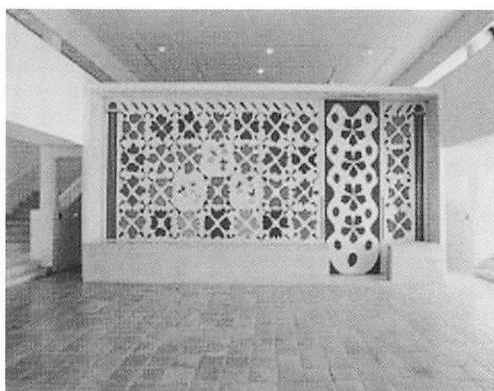


二ノス マチス美術館

改修工事で休館中のため研修コースから除外したが、実は入館できたとのこと。????うらやましい!!

「ボンジュール」と「メルシイボクウ」で楽しい旅をした。シャガール美術館、市内観光を終え、早めにホテルにチェックイン。夕食まで大分時間がある。好奇心の強い3人は、マチス美術館が休館と知りながら、諦めきれず、外観だけでもと散策に出かける。紺碧の「天使の湾」を望みながら、「ボンジュール」、「こんにちは」(日本人の留学生やOL風の人)と声をかけ、道を尋ね坂道を登って行く。赤レンガ色の壁とオーケルの窓枠の洒落た建物が目にはいる。人の出入りがあり、入館できそうな予感がして、入り口まで行く。

第3回海外研修旅行  
南仏・パリ名画の風景と  
印象派を訪ねて 旅行記 4  
旅のいま  
八戸市 鈴木リヨ



マチス美術館 (切り絵)

改修が済み、オープンしていた。第1日曜日は入場無料。私達も無料入館した。

躍動感のある切り絵や色彩豊かな絵に感動。彫刻やマチスの制作中の写真も展示されていた。夕食に間に合うように急いで美術館を出た。通りすがりの人に「ボンジュール」と声と声をかけ、「タクシー」、「タクシー」を連発する。こちらの気持ちに通じたようで、「オー、テレフォン」と言って携帯電話でタクシーを呼んでくれる。「メルシイボクウ」と礼を言う。あたたかい心に触れ、人にも感動した。

セザンヌのお父様の別荘で、庭師らしい人との出会いも琴線に触れるものがあつた。

ちよつとした出会い、触れ合いが、楽しく、豊かな旅となった。

お世話して下さいました皆様感謝申し上げます。ありがとうございます。

# 鷹山ひばり館長

## 「東奥賞」を受賞！

東奥日報社が文化、産業などの各分野で活躍し、郷土の発展に貢献した人や団体に贈る「東奥賞」。東奥日報創刊60年と紙齢2万号を記念して1948年制定され、これまで142個人・68団体に東奥賞、8人に特別賞、7人に特別顕彰、2人に特別栄誉賞が贈られています。

その栄えある本年度第60回東奥賞に、当美術館・鷹山ひばり館長を含む1個人2団体が選ばれました。



今回の栄誉は、七戸町立鷹山宇一記念美術館長として良質の企画展を数々開催、地域の芸術・文化の向上に貢献した功績が認められたものです。父・鷹山宇一画伯も1998年には「東奥賞特別賞」を受賞していますので、親子二代での受賞となりました。

12月1日には、青森市内のホテルで、受賞者はじめ関係者や親交のある人などが列席し、その功労を讃える贈呈式が開かれています。

### 第60回東奥賞を受賞した2団体

#### 「大間町の町おこしグループ」

●大間活性化委員会「やると会」●まちおこしゲリラ「あおぞら組」●生活改善グループ「大間風やませ」

▼「大間のマグロ」を旗印に、知恵と行動力で元気のでる地域を作り上げた。

#### 「つがる弘前農業協同組合

とうもろこし部会」  
▼品質向上と作付け拡大を果たし、「嶽きみ」を地域農業の柱に育てた。

### ●●●●●御礼の言葉●●●●●

「この度「東奥賞」を授けられましたことは身に余る栄誉で、何と記してよい言葉が見つかりません。これをひとえに「父宇一の名がついた美術館を設置して、このように展開を築き上げて下さいました七戸町皆様方のお陰と心より御礼を申し上げます。又、地方の格差の中窮迫している財政よりお心配りをして下さいる町長・議長・教育長はじめ役場のお力添えを有難く幾重にも感謝いたしております。」

そして、この美術館活動の心棒となっている「友の会」には御礼の言葉させていただきます。

今、「友の会」の存在は私の精神的な



支えとなっていています。とき折れば挫折感を味わい危殆に瀕する時、常に手を差し伸べ助けて下さる会員の皆様方にはただ深謝の気持ちばかりです。揺るぎない根っこを育んで戴いて下さる恩に何か報いたく存じます。

この歳になると私は「賞」を受けたことほど一度もなく、今でも孤にひままれた気がいたしております。そのような私の舵をとり、善導して下さいました福士前理事長、青山現理事長、理事・監事・評議員の鴻恩を忘れず、七戸町発展の為に微力ながらも貢献していく所存でございます。これから「七転び八起き」の好機を体得しながら、正々の旗、堂々の陣を組み、「語り継がれる展覧会」を目標に日々精進して歩んで参ります。皆様様本当に有難うございます。

七戸町立鷹山宇一記念美術館  
館長 鷹山ひばり

鷹山宇一記念美術館  
開館時間・休館日のご案内

●3/31迄の開館時間●  
午前10時～午後5時(入館は午後4時30分迄)

●年末年始休館●  
12月30日(日)～1月2日(水)

●館内整備のため臨時休館●  
1月29日(火)～2月8日(金)

※スペイン民芸資料館は企画展準備の為  
4/26(土)迄休館します

# 「遊蝶記」から

2007年も残すところあと数日。今年もまた「遊蝶記」の季節がやって参りました。

1999年10月25日、画家としての生を全うし、鷹山宇一先生は永眠されました。

「逝去された翌年からはじまった」遊蝶記も、今年8回目です。生前、愛する家族と共に過ごすお誕生日をとっても楽しみにしていたという鷹山先生にちなんで、毎年お誕生日の12月10日に開催しています。



▶ロウソクの炎が揺れるケーキを手にハッピーバースデーの歌を唄い誕生を祝いました。

今年、10日が月曜休館日にあたるため、また、広く多くの方々に鷹山作品に親しんでいただくようお願い、12月9日・日曜日を「遊蝶記」とし、終日無料開館したほか、友の会会員をはじめとする関係各位にご参集いただき、「遊蝶記の集い」を開催いたしました。鷹山先生



▲正午12時から行われた「遊蝶記の集い」には、友の会会員をはじめとする関係各位30名がお集まりくださいました。

を偲ぶとともに、この一年を振り返り、そして、新しい年への抱負を抱く一日としてご利用いただけたなら、望外の幸いです。

一日早いお誕生会となりましたが、1998年の鷹山宇一先生東奥賞特別賞に続く、親子二代での鷹山館長の東奥賞受賞が報告されるなど、鷹山先生も大変お喜びだったことでしょうか。99回目、白寿のお誕生会に大きなプレゼントとなったのではないのでしょうか。

2007年は、特別におめでたい「遊蝶記」となりました。

## 子どもたちのためのワークショップから Report!!

いちょうこくらぶ  
あ〜っと!くらぶ

「美術館いちようこくらぶ」からは、10月6日に行われた『ピースでアクセサリー／銀細工でフラスナートップ』の様子をご紹介します。



講師は、東京都在住の造形作家・廣田有布先生と彫金作家・片山雄介先生です。



午前中はまずピースアクセサリーづくりに取り組みました。手のひらにちよこんとのるサイズのミッキーマウスのチャームを制作しました。ピース細工に初めて挑戦する子どもたちは、真剣な顔で先生の説明を聞き、最後はみんなで完成

した作品と記念写真を撮りました。

午後は銀細工でのフラスナートップづくりに挑戦しました。それぞれ、イチヨウの形を作ったり型抜きしたり、はごを押しした



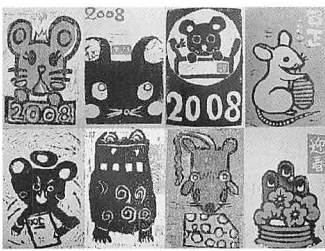
りして、オリジナルのトップが完成しました。使い方はその人次第。洋服やバッグのフラスナーに、ペンダントに、ストラップにと、世界はどんどん広がりますね。

「美術館あ〜っと!くらぶ」からは、11月17日、12月8日に開催した「木版画で年賀状をつくる」の様子をご紹介します。

今回は、お正月に欠かせない年賀状を木版画で制作しました。講師は元奥入瀬小学校校長の藤谷芳雄先生です。



木版画で年賀状をつくるポイントには「下絵をハガキいっぱいに大きく描くこと」。インパクトも強くなり、彫刻刀で彫るのも楽になります。題材は来年の干支であるねずみとし、今年度春からの参加者は、2〜3色の多色刷りに挑戦しました。多色刷りは、使う色の数だけ版も刷りの作業も必要となります。そのため制作には粘り強さが要求されました。刷り上がった作品には、消しゴムで作ったネーム印を朱で押し、素敵な年賀状が完成しました!



# 子どもたちたちの絵画展

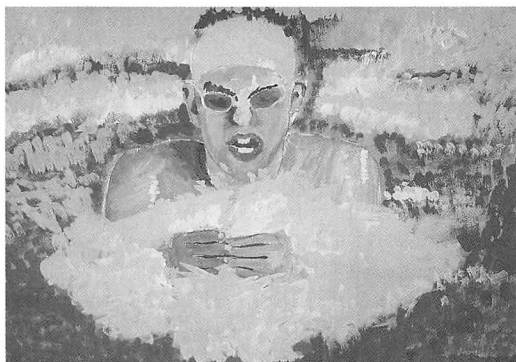
## 第7回鷹山賞児童作品展 第7回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展 キッズ・アートワールド大連2007

2008年  
1/27(日)迄  
好評開催中!

青森県南部地方の小中学生に作品を公募する絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」も、今年で第7回展となりました。

9月15日に応募を締め切り、これまで最高の応募団体数となる55団体・1個人から、1,010点もの力作が寄せられました。10月11日には審査会も行われ、鷹山賞を頂点とする入賞30点、入選97点、そして特別表彰1名が選ばれています。その栄えある入賞者を讃え、11月23日には入賞者授賞式が行われました。前日までの大雪とは打って変わって、青空の覗く良いお天気に恵まれて、身も心も晴れやかな式典となりました。入賞・入選となった全作品は、新年1月27日まで展覧します。この期間中は、子どもたちによる、子どもたちのための絵画展として、毎年恒例の、世界各国の子どもたちが地球環境をテーマに描いた「第7回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」はもちろん、今年をはじめご紹介する中国・大連市の台山小学校1年生から6年生までの子どもたちによる絵画展「キッズ・アートワールド大連2007」を開催します。

10月11日に行われた審査会から。審査委員長・濱田進先生(二科会会員)



▲鷹山賞(小学生の部)受賞作品  
「じょうずにできたぜ!!平泳ぎ」(水彩)  
中村泰輝くん(六ヶ所村立尾駈小学校6年生)

▼六戸町立六戸中学校教頭・新戸部一弘先生に「特別表彰」を贈りました。一昨年、昨年、そして今年と、先生が指導をされた生徒たちが鷹山賞を受賞しています。また今回、中学生の部奨励賞もすべて六戸中学校の生徒でした。「特別表彰」は、新戸部先生の指導者としての情熱と功労を讃えたものです。



▲最高賞の鷹山賞(小学生の部)を受賞した中村泰輝君。当財団理事長・青山浄晃より賞状と副賞が授与されました。副賞は鷹山宇一先生の孫で彫金作家の片山雄介氏制作。



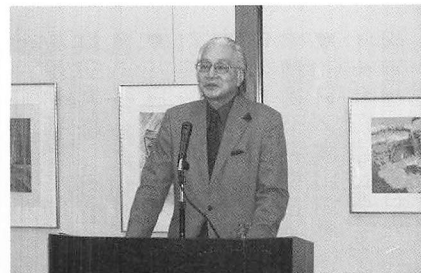
▶鷹山賞(中学生の部)受賞作品  
「バッグのりと赤ペン」(ドライポイント)  
吉田晃基くん(六戸町立六戸中学校2年生)



▶大連市台山小学校の子どもたちの絵画から。「キッズ・アートワールド大連2007」は、二元气な絵画展です。鮮やかで大胆な色遣い・画面構成など、日本の子どもたちもインスパイアされること間違いありません!全118点を紹介します。



▲1月27日までの会期中、当館主催子どものワークショップ「あ〜とくらぶ」「いちょうっくらぶ」で制作された作品をご紹介する「美術館子どもたち展」を開催しています。木版画、ピースアクセサリーなど、力作たちを是非ご覧下さい!!



▲授賞式には「キッズ・アートワールド大連2007」を主催するNPO法人アートコアあおもり理事長・佐々木高雄様にご臨席くださり、ご祝辞を頂戴しました。民間による「文化交流」=「キッズ・アートワールド大連2007」は、7月には弘前大学附属小学校で、10月には県立美術館で展覧されました。

# ● 美術館日誌 ●

## 【9月】

- ▼2日/「やなせたかしの世界展」最終日、総入館者数15、913人
- ▼3日/「やなせたかしの世界展」へ町内老健施設・保育園無料招待施、天寿園・みどり荘・七戸福祉会・城北保育園・榎林保育園、道ノ上保育園来館
- ▼4日/展示替えのため臨時休館(9日迄)。佐伯エデュケータ「七戸町産業文化健康まつり」打合せ会議に出席(七戸中央公民館)
- ▼5日/「やなせたかしの世界展」作品搬出
- ▼6日/大池学芸員東京出張(「やなせたかしの世界展」作品返却立会)
- ▼7日/青森県立郷土館企画展「花の肖像画」へ鷹山宇一作品4点を貸出
- ▼8日/鷹山館長東京出張(H20年度特別展打合せ、9日迄)
- ▼11日/七戸町立七戸小学校6年生史跡巡りの一環で絵馬館を見学。青森市桜川団地協会文化部45名様ご来館。火曜サロン開催
- ▼13日/鷹山館長青森市出張(県立美術館会議出席)
- ▼14日/鷹山館長青森市出張(県庁)。青森SCD友の会9名様ご来館
- ▼15日/第7回鷹山賞児童作品展応募締切
- ▼16日/いちようっ子くらぶ「イチヨウの絵本ができるまで」②開催

- ▼19日/鷹山館長青森市出張(青森県立第一養護学校にて講演)
- ▼21日/鷹山館長青森出張(県庁)。鷹山館長みちのく銀行七戸支店60周年記念祝賀会へ出席、みちのく銀行七戸支店グリーンクラブより寄付金10万円を頂戴する会場・柏葉館
- ▼22日/あーっと！くらぶ「多色刷り木版画」①開催
- ▼27日/鷹山館長八戸市出張
- ▼28日/友の会会報48号発送作業
- ▼29日/七彩会油絵教室開催

## 【10月】

- ▼2日/友の会海外研修旅行打合せ
- ▼3日/新幹線七戸駅(仮称)開業に伴う七戸町文化村周辺整備状況について関係各課へ説明のため、七戸町役場企画財政課2階工房を使用。美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼5日/鷹山館長青森市出張(県立美術館会議出席)。6、7日開催のワークシヨップ講師・片山雄介先生、廣田有布先生来七
- ▼6日/いちようっ子くらぶ「ピースアクセサリー」銀細工でファーストトップ開催
- ▼7日/大人のためのワークシヨップ「ピースアクセサリー」シルバークセサリー開催
- ▼11日/第7回鷹山賞児童作品展審査会開催。審査委員長・濱田進先生京都府より来七(12日迄)
- ▼13日/鷹山館長青森市出張(女子体育連盟にて講演、青森県総合社会教育センター)。あーっと！くらぶ「多色刷り木版画」②開催

- ▼18日/(株)ふかうら開発13名様ご来館
- ▼19日/自動ドア定期点検(ナブコ)
- ▼22日/佐伯エデュケータ「学びあい支え合い事業」進行状況説明会へ出席(七戸庁舎)
- ▼23日/青森県立郷土館へ貸出の作品4点返却
- ▼25日/キッズ・アートワールド大連2007打合せのため、主催のNPO法人アートコアあおもり事務局長葛西様ご来館
- ▼27日/南黒支部若竹の会20名様ご来館。当財団平成19年度第3回理事会開催。七彩会油絵教室開催
- ▼30日/展示替えのため臨時休館(11/2迄)。美術館冷暖房入替(オキタ工業)

## 【11月】

- ▼1日/鷹山館長青森市出張(県庁)。七戸町産業文化健康まつり会場設営手伝い(大池、七戸町立体育館)
- ▼2日/七戸町産業文化健康まつりへワークシヨップ参加の子どもたちの作品を展示(佐伯)
- ▼3日/第67回国際写真サロン展第5回女性写真公募展初日(18日迄)
- ▼4日/蝦名着付け教室10名様ご来館。七戸町産業文化健康まつり作品搬出、会場片付け(佐伯古屋敷)
- ▼6日/鷹山館長青森市出張(生涯学習審議会出席)。美術館スタッフ打合せ
- ▼8日/鷹山館長八戸市出張(県立南郷高校にて講演)
- ▼9日/当館HP開設打合せ

- ▼11日/いちようっ子クラブ「イチヨウの絵本ができるまで」②開催
- ▼13日/美術館スタッフ打合せ
- ▼14日/友の会研修旅行「棟方志功記念館」山下清展(県立郷土館)
- ▼15日/鷹山館長青森市出張(鷹山賞入賞者賞状・副賞引取)
- ▼17日/あーっと！くらぶ「木版画で年賀状とつくる」開催
- ▼18日/写真サロン展「女性写真展」最終日、総入館者数251名。作品搬去
- ▼19日/展示替えのため臨時休館(23日迄)。写真サロン展作品搬出
- ▼20日/鷹山館長五所川原市出張(講演)。南部サミット一日国替え事業のため三戸町々慈豊町長が「一日七戸町長」としてご来館
- ▼23日/第7回鷹山賞児童作品展入賞者授賞式開催
- ▼24日/「第7回鷹山賞児童作品展」第7回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展「キッズ・アートワールド大連2007」初日(11/27迄)
- ▼27日/鷹山館長三戸町出張(三戸町立三戸北小学校にて講演)。経理・花松青森市出張(公益法人会議出席)。七戸町立七戸小学校3年生児童引率教員64名様、同校4年生児童引率教員57名様、町立城南小学校5年生児童引率教員46名様ご来館
- ▼28日/町立城南小学校3年生児童引率教員40名様ご来館
- ▼29日/町立七戸小学校2年生児童引率教員42名様、同校5年生児童引率教員55名様ご来館
- ▼30日/鷹山館長、佐伯エデュケータ十和田市出張(あーっと！くらぶ木版画講師・藤谷先生グループ展鑑賞)

連載 (最終回)  
幡山つてどんな人(その七)

(財)鷹山宇一記念美術振興会

常務理事 濱中 達男

明治以来、七戸出身で中央舞台の各方面で活躍した人は沢山おりますが、画家を志した人は鳥谷幡山が初めてであったようです。

特に、画家を志す人が現われるには、その背景に藩政時代から培われた文化の蓄積があったからでありまして、現在この七戸町に、小さいながらも「鷹山宇一記念美術館」が在ることも決して無関係ではないと思われまます。

私たちが敬愛する宇一先生もまた北東北の遺伝子を色濃く宿して故郷を後にしたのではなかったか、と想像されます。

美術館では、幡山ゆかりの方々のご理解とご協力によりまして、四十余点の作品と多数の資料を収蔵しております。この作品群の寄贈につきましては幡山のお孫さんの野谷善達さんが、友の会会報「開館十周年記念特集号」(三十七号)に寄稿され、当時の経緯とご心情を書いておられます。そして又、お身内からの幡山像も興味深く披露されております。

七戸の未来を考えると、北東北人に求められる人間像として、幡山の足跡を再確認してみることは、決

して無駄ではないと信じております。この度は、幡山への「入門編」のつもりで「幡山つてどんな人」と題して書いてみました。

完

参考文献

- ・「研精画誌」一号〜六十八号
- ・「研精美術」一号〜二号
- ・「支那周遊図録」周遊図録発行所 大正二年
- ・「十和田勝景画譜」祥光閣書房 大正十一年
- ・「十和田湖」大町桂月遺稿 編者・生出匡 昭和十一年
- ・「神国日本に再顕せるイエスキリスト」 昭和十五年
- ・「追憶三紀行」新古美術社 昭和十七年
- ・「日本のキリスト」世界古代文化総合研究会 昭和三十年
- ・「蕪温泉と故小笠原なか子刀自」 昭和三十一年
- ・「回顧六十年」 昭和三十三年
- ・「神日本とイエスキリスト」 昭和三十八年
- ・「十和田湖八甲田山」 品川弥千江編著 東奥日報社 昭和四十九年
- ・「日本南画論攷」 吉澤忠 講談社 昭和五十二年
- ・「新十和田湖物語」鳥谷部陽之助 彩流社 昭和五十八年

- ・「小南画帖」永峰文男編 尚武堂和島書店昭和五十八年
- ・「古代日本ピラミッドの謎」 鈴木旭著 新人物往来社 平成五年
- ・薫りたつ明治の雅「寺崎広業展」 図録 北海道立函館美術館 平成六年
- ・岩手の近代美術「北斗会の人々」 萬鉄五郎記念館 平成六年
- ・酒仙・鉄脚の旅 人「大町桂月」 小笠原耕四郎 編集・発行 平成七年
- ・「文人たちの十和田湖」成田健 無明舎出版 平成十三年
- ・別冊太陽 「発禁本Ⅲ」 平凡社 平成十四年
- ・鷹山宇一記念美術館友の会会報「十周年記念特集号」 平成十六年
- ・図説「上北・下北の歴史」 監修・盛田稔 郷土出版社 平成十七年
- ・別冊歴史読本 「古史古伝と偽書の謎」



東奥展総会(昭和5年頃)・・・鷹山宇一所蔵写真から転載  
前列左端鳥谷龍岬、2人目が鳥谷幡山。右から3人目が鷹山宇一。  
後列右から5人目が棟方志功。6人目が松木満史。

第42号から7回にわたる連載が完結致しました。濱中常務理事には力作を戴き、感謝しております。更なる研究に期待しております。

- ・新人物往来社 平成十六年
- ・美神逸脱 草莽の画家 「鳥谷幡山」 高井憲夫著 平成十八年

# おしゅれな版画たち「やないづ町立斎藤清美術館」

平成9年に開館した福島県の「やないづ町立斎藤清美術館」をご紹介します。



福島県会津地方の西部に位置する河沼郡柳津町。町の中心を静かに流れる只見川の河畔に道の駅と隣接して「やないづ町立斎藤清美術館」があります。

この美術館は、柳津町の名誉町民であり鷹山宇一先生とも深い交流のあった、故斎藤清画伯（1907～1997）の作品を展示する美術館として平成9年10月に開館

しております。

斎藤清画伯は、柳津町に隣接する会津坂下町に生まれ、昭和26年には、サンパウロ・ビエンナーレで戦後日本人として初の国際展受賞をはたしました。以来、内外で数多くの受賞をされ、平成7年には文化功労者に顕彰されています。

美術館の周りは、画伯が愛してやまなかった会津の風景、なかでもライフワークとなった「会津の冬」の版画の世界が生きづくゆかりの地です。美術館にはこの「会津の冬」シリーズを中心に、多くの作品が収蔵されており、常時約90点の作品が展示されています。（展示替えは年4回）

また、隣接する観光物産館「清柳苑」の手打ちそば「博士そば」は、お試しの価値があります。

（Y・Y）

## やないづ斎藤清美術館利用案内

開館時間：9:00～16:30（入館16:00まで）  
 休館日：毎月曜日（ただし月曜日が祝祭日の場合は翌日）  
 入館料：一般500円  
 車で：磐越自動車道会津坂下I.Cより約5km  
 電車で：会津若松→（只見線）→会津柳津駅  
 電話0241-42-3630 FAX0241-42-3631  
 ◆http://www4.ocn.ne.jp/~s.k.muse/

## 友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願い

本年も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有難うございます。

本年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様方に芸術・文化に「層親しんでいただけるよう研修旅行講演会などを企画し、微力ながらも地域文化に寄与していく所存でございます。本号に年度更新の振替用紙を同封いたしましたので、各位のご協力をお願いいたします。

### ○友の会事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行（年2～3回）
- ②海外美術館研修旅行（00年スペイン・パリ、04年イタリア、07年南仏・パリ）
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他（美術講演会の開催等）

### ○一般会員 年会費3千円

- 特典
- ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
  - ②ミュージアムグッズ1割引
  - ③研修会、講演会への招待、優待
  - ④他美術館等の視察研修への優待参加
  - ⑤会報の配布

### ○特別会員 年会費1万円

- 特典
- ①一般会員特典に加えて
  - ②本人及び同伴者1名まで無料入館
  - ③新規加入の方に画集1冊贈呈

### ○賛助会員 年会費2万円

- 特典
- ①一般会員特典に加えて
  - ②本人及び同伴者3名まで無料入館
  - ③新規加入の方に画集1冊贈呈
  - ④特別企画展の都度、招待券を贈呈

■詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

平成20年度美術館  
 監視ボランティア協  
 力をお願い

★美術館では平成20年度監視ボランティアとして協力できる方を募集しております。

★友の会会員の方で監視ボランティアとして協力できる方は、美術館にご連絡・お問い合わせ下さい。

なお、日程はご都合に合わせて調整いたします。

★次年度も様々な企画展が予定されますので、会員のご協力をお願いします。

## 編集後記

★鷹山ひばり館長が栄えある東奥賞を受賞。平成10年、宇一先生の東奥賞特別賞に続く親子二代の受賞は、美術館・友の会にとっても大変嬉しい慶事です。喜びの年となりました。

★お正月はお酒を飲む機会が多くなります。身体へのエゴ対策を、と言われ続けております。

★平成20年、会員の皆様にとって良い年でありまますように。

（E・I）